



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月10日

上場会社名 高松機械工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6155 URL https://www.takamaz.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高松 宗一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 四十万 尚 (TEL) 076-274-1410
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	17,135	3.2	1,396	△9.0	1,544	△8.2	1,066	△8.5
2019年3月期第3四半期	16,605	23.4	1,534	71.1	1,682	84.8	1,166	91.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,063百万円(△0.7%) 2019年3月期第3四半期 1,070百万円(54.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	98.74	98.28
2019年3月期第3四半期	107.71	106.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	23,978	15,424	64.2
2019年3月期	23,737	14,528	61.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 15,403百万円 2019年3月期 14,490百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.00	—	14.00	22.00
2020年3月期	—	10.00	—		
2020年3月期(予想)				15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,853	0.9	2,260	△3.0	2,421	△3.2	1,671	△2.2	154.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	11,020,000株	2019年3月期	11,020,000株
2020年3月期3Q	128,745株	2019年3月期	266,745株
2020年3月期3Q	10,804,364株	2019年3月期3Q	10,826,050株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業的前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産に弱さが続く中、雇用・所得環境の改善は進み、緩やかな回復傾向にありました。他方で中国経済の低迷や米中貿易摩擦の影響によって、海外経済は先行き不透明感の強い状況が続きました。

当社グループの主力分野である工作機械業界においては、2019年8月以降、単月の業界受注総額が1,000億円を割る等、米中貿易摩擦の影響により、国内外ともに厳しい受注環境が継続し、当第3四半期連結累計期間の業界受注総額は、前年同期比34.7%減少の8,640億円となりました。

このような状況の中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高は前年同期に比べ5億30百万円(3.2%増)増収の、171億35百万円となりました。営業利益は13億96百万円(前年同期比9.0%減)、経常利益は15億44百万円(同8.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億66百万円(同8.5%減)となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

① 工作機械事業

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、受注高が54億71百万円(前年同期比63.8%減)、受注残高が109億62百万円(同45.6%減)、売上高が151億30百万円(同0.7%増)、営業利益が12億14百万円(同17.7%減)となりました。

受注高の地域別内訳は、国内や北米及びアジア向けが減少した結果、内需が31億19百万円(同70.1%減)、外需が23億51百万円(同50.0%減)となりました。

売上高の地域別内訳は、国内向けが減少し、北米やアジア向けが増加した結果、内需が91億91百万円(同6.6%減)、外需が59億39百万円(同14.7%増)、外需比率が39.3%(前年同期は34.5%)となりました。

当第3四半期連結累計期間における主な取り組みとして、自動化技術を付加した最適なソリューション提案によって受注確保をはかるとともに、自動車産業以外の市場開拓に向けた営業活動に注力してきました。

4月には中国のCIMT2019、9月にはドイツのEMO2019、10月には名古屋で開催された国内最大級の工作機械見本市であるMECT2019に出展し、新機種などの展示を行いました。また、海外の連結子会社においてプライベートショーや現地ディーラ会議を開催しました。

製品面では、1台に3台分の加工装置を搭載していることで、旋削加工から穴あけまで多様な加工をそれぞれ同時に加工でき、生産性アップにつながる「XV-3」、及び主力機種「XL-150」の後継機であり、当社独自の自動化技術を継承しつつ、手動で行う刃物位置調整作業の支援機能や予防保全に繋がるIoT機能など、優れた操作システムを搭載し高い生産性を実現させる「XT-8」の2機種を新たに発表しました。前述のMECT2019で初披露し、多くのお客様にご覧いただきました。

生産面では、組立員のスキルアップをはかるとともに、作業の標準化、設備の効率的運用に取り組むなど、生産体制の強化に努めてきました。

② IT関連製造装置事業

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が14億18百万円(前年同期比38.5%増)、営業利益が2億16百万円(同142.3%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間にかけて半導体関連やその他の製造請負案件で受注が増加した結果、売上高・営業利益はともに順調に推移しました。

③ 自動車部品加工事業

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が5億85百万円(前年同期比4.7%増)、営業損失が30百万円(前年同期は30百万円の営業損失)となりました。

新規受注獲得に向けた営業活動に取り組む一方で、既存取引先における生産調整やモデルチェンジによる使用部品の切り替え等によって、売上高は伸び悩みました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は239億78百万円で前連結会計年度末に比べ2億41百万円の増加となりました。

区分別にみますと、流動資産は174億93百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億81百万円増加しました。その主な要因としては、電子記録債権が7億6百万円、流動資産のその他(前渡金等)が2億50百万円減少したものの、現金及び預金が7億4百万円、たな卸資産が3億8百万円、受取手形及び売掛金が1億22百万円増加したことによるものです。

固定資産は64億84百万円となり、前連結会計年度末に比べて59百万円増加しました。その主な要因としては、投資その他の資産のその他(投資有価証券等)が1億9百万円増加したことによるものです。

次に当第3四半期連結会計期間末の負債は85億54百万円で前連結会計年度末に比べて6億54百万円の減少となりました。

区分別にみますと、流動負債は71億28百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億36百万円減少しました。その主な要因としては、支払手形及び買掛金が1億63百万円増加したものの、未払法人税等が4億80百万円、賞与引当金が1億52百万円減少したことによるものです。

固定負債は14億25百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億17百万円減少しました。その主な要因としては、長期借入金が1億8百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は154億24百万円で前連結会計年度末に比べて8億95百万円の増加となりました。その主な要因としては、利益剰余金が8億8百万円増加したことによるものです。なお、自己資本比率は64.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年11月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,024	4,729
受取手形及び売掛金	3,404	3,526
電子記録債権	5,843	5,136
商品及び製品	731	1,208
仕掛品	1,874	1,661
原材料及び貯蔵品	1,021	1,066
その他	424	173
貸倒引当金	△11	△9
流動資産合計	17,311	17,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,421	1,393
土地	2,461	2,461
その他（純額）	886	868
有形固定資産合計	4,769	4,724
無形固定資産	31	26
投資その他の資産		
その他	1,659	1,768
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	1,624	1,734
固定資産合計	6,425	6,484
資産合計	23,737	23,978

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,513	1,677
電子記録債務	3,576	3,610
短期借入金	790	785
未払法人税等	533	52
賞与引当金	241	89
役員賞与引当金	45	33
製品保証引当金	74	61
その他	890	817
流動負債合計	7,665	7,128
固定負債		
長期借入金	507	399
退職給付に係る負債	576	583
長期未払金	379	379
その他	80	63
固定負債合計	1,543	1,425
負債合計	9,208	8,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,814	1,791
利益剰余金	10,830	11,638
自己株式	△245	△118
株主資本合計	14,234	15,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	141
為替換算調整勘定	203	146
退職給付に係る調整累計額	△42	△30
その他の包括利益累計額合計	256	256
新株予約権	28	15
非支配株主持分	10	5
純資産合計	14,528	15,424
負債純資産合計	23,737	23,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	16,605	17,135
売上原価	12,346	12,971
売上総利益	4,258	4,163
販売費及び一般管理費	2,723	2,767
営業利益	1,534	1,396
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	10	8
持分法による投資利益	88	140
その他	65	36
営業外収益合計	166	191
営業外費用		
支払利息	3	3
為替差損	15	39
その他	0	0
営業外費用合計	19	43
経常利益	1,682	1,544
特別利益		
固定資産売却益	1	0
新株予約権戻入益	—	0
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産除却損	0	2
特別損失合計	0	2
税金等調整前四半期純利益	1,683	1,543
法人税、住民税及び事業税	439	445
法人税等調整額	81	34
法人税等合計	520	480
四半期純利益	1,162	1,062
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,166	1,066

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,162	1,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58	46
為替換算調整勘定	△5	△16
退職給付に係る調整額	△0	11
持分法適用会社に対する持分相当額	△27	△41
その他の包括利益合計	△92	0
四半期包括利益	1,070	1,063
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,073	1,067
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。